

シルバー

エコ



第 328 号 平成 31 年 3 月 11 日発行

公益社団法人 三田市シルバー人材センター
〒669-1323

三田市あかしあ台 5-32-2

TEL 564-7501 FAX 553-1300

Eメール sandasilver631015@sandasc.org

ホームページ <http://www.sandasc.org/>

第6回 理事会開催

去る2月22日（金）平成30年度第6回理事会が開催されました。

各部会の報告事項として、総務財政部会から中期計画作成の進捗状況、次年度にむけた予算や計画の見直しなどが検討され、業務部会では、一般家庭からの受注が増加している「便利屋班」の体制作り、新規契約事業に関する取り組みなどが報告されました。

更に、福利厚生部会では、ボウリング大会の開催や、3月の「三田まちあるき」、次年度の「春季日帰り旅行」に関する取り組み、安全適正就業推進委員会では、今年度の事故発生状況を検証し、発生しやすい作業とその傾向、今後の事故防止に関する取り組みの他、公用車へのドライブレコーダー設置についても報告されました。

協議事項として、本年度の決算見込みを見据えたうえで、次年度の予算の傾向、事業計画などが協議されました。具体的な内容として、「シルバー感謝祭」について、内容の見直し、課題の検討を行うため、次年度の中止が決定されたり、会員拡充・退会抑制の取り組みや、独自事業の運営に関しての協議が行われました。

最後に、配分金に関する案件では、今後、郵便貯金通帳への配分金の振り込みについては、手数料が発生することから、将来的に取り扱いを中止とすることや、配分金の支払日について、月末月初に土日祝日が絡む場合、職員が休日出勤をしていることを解消するため、現在の10日払を変更することなどが検討されました。

配分金に関連する件の詳細は、事務局から改めてご案内されることとなります。



赤穂市シルバー人材センター 視察訪問

2月21日（水）、赤穂市シルバー人材センターから理事及び各種班長など23名が、地域班・職群班活動、会員増強などに関する取り組みについての視察研修として、当センターを訪問されました。

まずは、現在の地域班活動や、除草班等の職群班の体制、全戸配布のチラシや会報誌「Now」の配布による会員募集、更には「シルバー感謝祭」での普及啓発活動など、当センターでの取り組みやその効果等を、理事や事務局が説明しました。

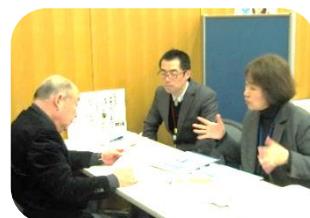
意見交換では、各班長等の後任候補がないことや、会員が思うように増えず、職種によっては人手不足が発生し、順調に依頼をこなせていないなど、会員数こそ500名強と当センターの半分ほどの規模ですが、設立された時期も近いことなどから、今までの取り組みについては、同じような悩みを抱えている状況であることがわかります。

結局、画期的な方策は見つからないものの、意見交換、情報交換を行うことで、お互いへの刺激や、活性化になったことが、一番の収穫ではないかと思えます。



いきがい応援プラザ-HOT-とコラボでPR大作戦！

2月15日（金）キッピーモール6階の大集会室で、ハローワークと三田市の主催で行われた「三田地域合同就職面接会」は、新卒者から高齢者までと対象者の幅が広いですが、その内55歳以上を対象に、いきがい応援プラザ-HOT-の相談員と一緒にブースを設け、高齢者の相談に応じました。



1時間半の開催中に4名の相談を受けましたが、定年を控えた方、老後の在り方を検討されている方など、いずれも込み入った内容までたっぷり相談され、中には入会を考えてみようかと思われる方もあり、手応えのある結果となりました。



更に、2月19日（火）には、フラワータウンから発信されている「ハニーFM」にお邪魔し、「まちづくりは地域から」というコーナーで、同じく-HOT-の相談員と共に出演しました。高齢者の就労スタイルが多様化する中、当センターが目的とする「生きがいづくり」「健康維持」、地域に密着した縁の下の支え的な「社会参加」をPRできたのではないかと思います。

今後も与えられた機会を有効に、様々なPR活動ができればと思います。

女性限定相談会・75歳以上限定相談会

対象を限定した相談会として、2月20日に「女性限定相談会」、翌21日に「75歳以上限定相談会」が開催されました。

「女性限定相談会」の参加者は5名で、未就業会員は居なかったことから、就業機会を求める相談はなかったものの、女性会員の就業に関する貴重な意見を聞くことができました。また、「75歳以上限定相談会」は18名の参加者の内、6名が未就業会員で、民間企業からの求人は年齢制限や様々な条件があり、75歳以上の会員は就業に繋がりにくい状況の中、「何か仕事がしたい」「社会の役に立ちたい」と、就業意欲が高い会員が多いことがわかりました。参加者が予想以上に多かったことから、今後、定期的な開催が検討されることとなります。



平成31年度地域班 活動報告会

今まで「班会」と言っていたものを、今年から「活動報告会」と名称を変更しました。ご参加くださいますよう、お願いいたします。

地域班	場所	開催日	開始時間
三田	三田市民センター	4月19日（金）	10:30～
三輪	三輪会館	4月25日（木）	11:00～
広野	広野市民センター	4月24日（水）	10:00～
高平	高平ふるさと交流センター	4月23日（火）	10:00～
藍・本庄	藍市民センター	4月17日（水）	9:30～
小野	有馬富士共生センター	4月19日（金）	10:00～
フラワータウン	フラワータウン市民センター	4月24日（水）	10:30～
ウッディA・B	ウッディタウン市民センター	4月22日（月）	10:00～

3月11日からの行事

- 3/20 (水) 仕事の相談日 10:00～
総務財政部会 13:30～
3/22 (金) 理事会 13:30～
3/26 (火) 出張入会説明会 10:30～
場所：キッピーモール
4/11 (木) 安全・適正就業推進委員会 13:30～
4/12 (金) 入会説明会 13:30～
4/17 (水) 仕事の相談日 10:00～

入会説明会のスケジュールを、未入会の方へお伝え
いただければ幸いです。

次回の配分金の支払いは

3月11日(月)です。

2月度	平成29年度実績	平成30年度速報
会員数 (人)	1,141	1,151
受注 (件)	2,715	2,564
金額 (千円)	458,480	459,844

新入会員紹介(順不同・敬称略)

17名の方が登録されました

個人情報のため、お名前は伏せています。

笑顔研究所
あなたが笑顔になる時は...

たけなか とよし
竹中 豊司 さん



入会は平成29年5月です。現在は、天神公園のトイレ清掃業務と三田地下駐車場の管理業務をされています。若い頃に車の免許を取得し、少

し改造し始めたところ、のめり込んでいき、そこから、40年ちょっとの間に20台弱の車に乗られたそうです。しかも、そのすべてがホンダのマニュアル車で、理由は、「ホンダは奇抜だから好きです。それを自分流に改造することが、とても楽しい。マニュアル車は操作が難しいことから、最近まではボケ防止のために乗っていました。」とのこと。

また、「飽き性だから、すぐに乗り換えたくなるんです。」とおっしゃっており、2～3年前に購入した、S660の乗り換えも検討されていました。



ここ数年は、元旦に鈴鹿サーキットのレーシングコースを走っておられ、「アニメのルパン三世で有名なフィアットなど、滅多に見られないような旧車も走っていて、いつかオーナーと話をしてみたいな～と思っています。」と、興奮気味に話しておられました。

最後に、笑顔になるときはどんな時ですかとお聞きすると、「やっぱり車です。車を見ているとき、乗っているとき、改造するとき。どのときも、笑顔になりますね。」と、おっしゃっていました。(N・N)

大回り乗車



時間はあるので旅に出てみたい、がお金を使いたくない、そのような方に格安で行けるおもしろい方法があります。「大回り乗車」です。大都市圏でのみ可能で、三田近郊の駅も対象です。

ルールがあります。「大都市近郊区間のみを利用する場合の特例」(JR)

- ①一筆書きのように工程が交差しない。
- ②途中下車はできない。
- ③適用できる区間がある。

ネットで「大回り乗車」で検索し、不明点を問合せたり、駅員さんに聞いて実行しましょう。

ある方が新三田駅から三田駅の190円切符で4時間の旅を楽しまれています。新三田駅を出発し、北上し谷川駅に行きます。ここから加古川線で南下し、神戸線と宝塚線で三田に戻ってきます。加古川駅で途中改札を通るときは、駅員さんに大回り乗車だと伝えると可能です。

田舎の風情を目に焼きつけ、海の香を胸いっぱい取り込み、車内の知らない人との会話を楽しみながらの気ままな旅がわずか190円の運賃で可能となります。もう少し大がかりに楽しもうと思えば起点にする駅まで自腹で行き、そこで下車し再度乗車して大回り乗車をすれば可能です。自分で立案すると頭の体操となります。

前もって少し調べておきましょう。

- ① トイレ対策 ホーム内にトイレのある駅を調べておく。快速、新快速はトイレ付です。
 - ② 記念品等購入 エキナカショッピングができる所は？ ホームで立ち食いできる所、駅弁を販売している駅は？
- 大回り乗車をお楽しみ下さい。 (H・Y記)

漢字 あら・かると「月と桂」

月の名所には「桂」がつく地名が多いですね。

土佐の「よさこい節」にも「♪月の名所は桂浜」と歌われますし、京都には桂離宮や桂川など、月を愛でるところに桂の名が見受けられます。何故なのでしょう？これは中国の伝説で、月には500丈(約1,500m)を越す桂の大木があるとされたところから、月イコール桂のイメージができあがったと考えられています。



〈桂川と渡月橋〉

また、大昔から、欠けては満つることを繰り返す「月」は、再生のシンボルとしてあがめられてきました。言い伝えによると、仙法を学んだとの罪で、一人の男性がこの木を切り倒すよう神から命じられていました。しかし、切っても、切っても新しく切り口が再生され、果てしのない作業が繰り返されている。すなわち、これが月の満ち欠けである、とも信じられていました。

ギリシャ神話にも、月と桂(月桂樹)の関係をあらわす物語があり、今なおオリンピックでは勝者に月桂樹の冠を贈る儀式が続いています。この神話のお話は次号で。 (T・N記)

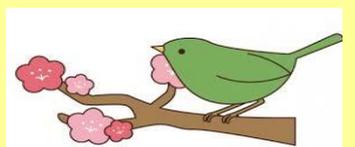
気まぐれトーク

家の前には農業用に整備された池があります。遊歩道寄りには芝生、奥は雑木林が残っています。池の左側は梅公園。右は公園から広場、コミュニティセンターへと続いています。見晴らしがいいのが、我が家の一番のポイントです。

この時期になると、ウグイスが鳴き始めます。雑木林に巣があるのでしょう。第一声は「ケキョ」。初々しく、たどたどしい鳴き声に、思わずほっこりした気分になります。春の訪れを告げる嬉しい声です。

半月ほどすると鳴き声は「ホーホケキョ」へと進歩していきます。初めは「ホーホケ」からだんだんと上手になり、最後はきっちりと「ケキョ」まで聞こえるようになります。そして夏前には「ホーホケキョ、ケキョケキョケキョ」と美しい声を響き渡らせてくれます。

小さな子どもを見守る近所のおばさんみたいに毎年、ウグイスの成長を楽しみにしています。



(A・O記)